

パソコン同好会

放送大学山口学習センターサークル

機関誌 No. 52

Feb. 17, '13.
文責 井手明雄

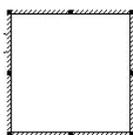
1, 第五十七回パソコン同好会

- (1) 開催日： 12月22日(土) 12:00~15:00
- (2) 場所： 放送大学山口学習センター小講義室(山口大学・大学会館内)
- (3) 内容：
 - ① パワーポイントの利用、プレゼンテーション効果向上の工夫。
バラ科の4つの亜科の特徴とこれに関連して、花の形成ABCモデルを説明するスライドを作成し、このスライドを効果的にプレゼンテーションする方法を工夫した。
 - ② その他
イ、1月の例会は、単位認定試験があり、例会開催の日時の確保ができないことから、休会とすることにした。
ロ、例会以外に、松浦満センター所長の提案により、2月10日(日)開催の自主ゼミ「文房具としてのパソコンの活用」に参加することにした。

2, Q & A

Q: 文章を、声を出して読んでもらうには ?

A: ① 予め、読んで欲しい文章をマウスで右クリックして「コピー」しておきます。② 「挿入」タブの「テキスト」グループの「オブジェクト」の中から「オブジェクト」をクリックして、表示される一覧から「LaLaVoice テキスト」を選択します。左図の



ような枠が出ますので、枠内を右クリックして貼り付けます。③ 右図のようになり、右図のようになり、これをクリックし、「LaLaVoice テキスト」から、「再生」をクリックすると、音声が出ます。



本機関誌の原本は USB にありますので、ワードで開いて、右図をクリックして試してください。

3, 第五十八回パソコン同好会

- (1) 開催日： 2月17日(日) 13:30~15:30
- (2) 場所： 放送大学山口学習センター小講義室(山口大学・大学会館内)
- (3) 内容： 「文房具としてのパソコンの活用」の復習・利用練習

文書清書処理システム EasyTex の演習

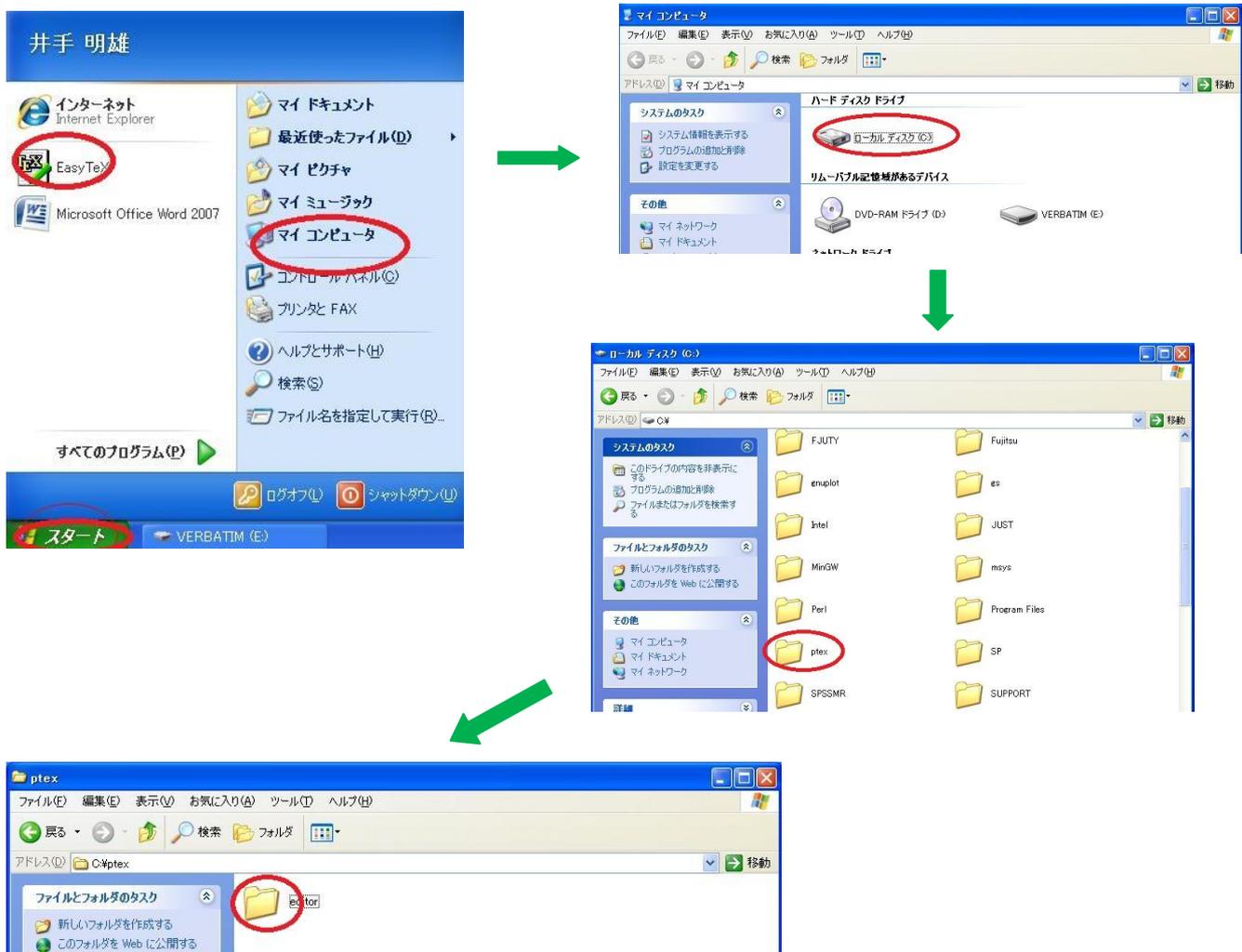
1. EasyTex の起動

山口学習センター松浦満所長が用意したマニュアルに基づいて EasyTex を起動する方法を述べます。センターのパソコンを使用した場合について述べますので、自宅では対応する手段を講じてください。

自宅でフリーソフトをインストールする方法を書いたプリントを別に差し上げます。

(EasyTex の起動)

- ① センターのパソコンを立ち上げます。
- ② 「スタート」を押して「マイコンピュータ」をクリックします。
「マイコンピュータ」のウィンドウから、「ローカルディスク (C)」選択。

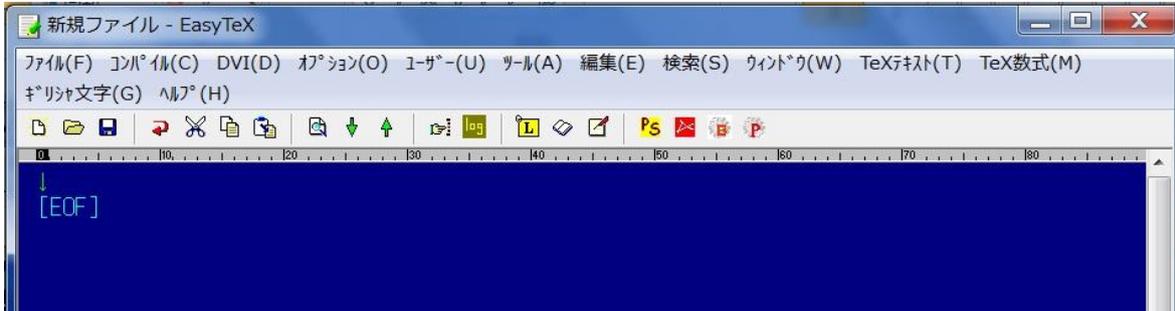


リストから、「ptex」続いて「editor」をダブルクリックします。

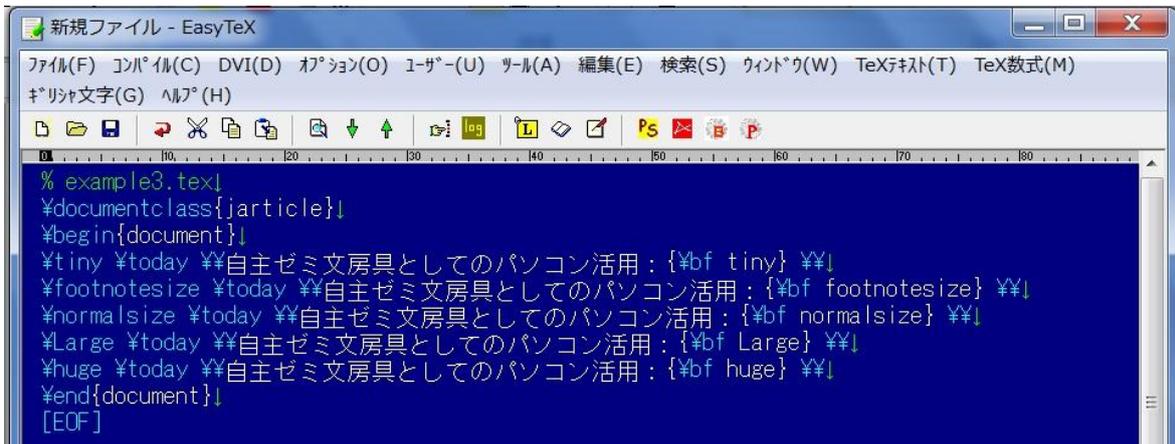
- ③ 一覧の中から「EasyTeX」のアイコンをダブルクリックします。



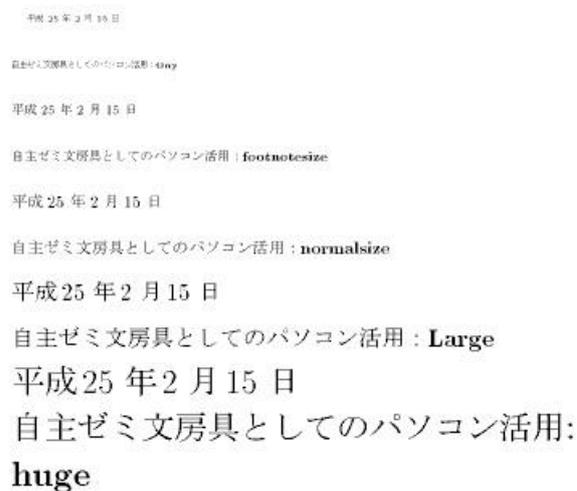
④下の画面が TeX のテキストを作成するウィンドウです。



この中に、下図のようにテキストを書いて、「コンパイル」ボタンを押すと、エラーがあるときは、表示があります。



正しければ、「ファイル」メニューから「コンパイル PDF プレビュー」を押すと印刷時の画面が、下図のように出ます。



\normalize \today $\text{\textbf{自主ゼミ文房具としてのパソコン活用}}$: $\text{\textbf{normalsize}}$ $\text{\textbf{Large}}$ \today $\text{\textbf{自主ゼミ文房具としてのパソコン活用}}$: $\text{\textbf{Large}}$ $\text{\textbf{huge}}$ \today $\text{\textbf{自主ゼミ文房具としてのパソコン活用}}$: $\text{\textbf{huge}}$ $\text{\end{document}}$

作成後、「コンパイル (C)」をクリック、「DVI」をクリックすると、ディスプレイに出力表示可能となる。

表示を印刷するには、印刷したいファイルを画面に表示し、画面上部の File をクリックしその中の Print (印刷) を選択し、プリンターが学習センターのプリンター (小講義室は RICOH IPSiO SP6210 PPCS-LP01) であることを確認し、Ok を押すと印刷。

3, 数式を含む LATEX の文章作成の基本説明

LATEX では数式は数式モードと言われるモード内に記述し、文章モードとは区別される。

(1) テキスト文中の数式

テキスト文中の数式はドルマーク \$ で囲む。例えば、 $y=x+3$ というように書く。上付き、下付は、 $a_n=n^2+n$ のように書く。

(2) 1 行の独立した数式

1 行の独立した数式を書くときは、 $F(x)=x^3-3x$ のように書く。さらに、自動的に数式に番号を付けたいときは

$\text{\begin{equation}}$

$$S_n=\sum_{k=1}^n a_k$$

$\text{\end{equation}}$ のように書く。

(3) 複数行にわたる数式

複数行にわたる数式を書く場合には、

$\text{\begin{eqnarray}}$

$$(a+b)^3-(a^3+b^3)$$

\&= $\&a^3+3a^2b+3ab^2+b^3-\text{\&}$ a^3-b^3 $\text{\textbf{\}}$

\&= $\&3a^2b+3ab^2$ $\text{\textbf{\}}$

\&= $\&3ab (a+b)$

$\text{\end {eqnarray}}$ のように書く。

4, 数式を含む文書作成

数式を含む文書作成では下記のように TeX 原稿テキストファイルを作成。

[例 1]

$\text{\documentclass [b5paper, 12pt] {jarticle}}$

$\text{\begin{document}}$

$\text{\$s>1}$ において級数

$\text{\begin{equation}}$

```
\zeta(s)=\sum\{n=1\}^\infty \frac{1}{n^s}
```

```
\end{equation}
```

は収束する。 $\zeta(s)$ をリーマンのゼータ関数と呼ぶ。

オイラーは

```
\zeta(2)=\sum\{n=1\}^\infty \frac{1}{n^2}=\frac{\pi^2}{6}
```

```
\end{equation}
```

であることを発見した。

```
\end{document}
```

「コンパイル (C)」をクリック、「DVI」をクリックしディスプレイに出力表示可能。

[例 2] 数式を含む短い文章の作成

下記のように TeX 原稿テキストファイルを作成。

```
% example2.2.tex
```

```
\documentclass{jarticle}
```

```
\begin{document}
```

津波や地震などは波動現象の 1 つである。一般に波は振幅を y 、

位置を x とすると $y = \sin\left(\frac{2\pi}{\lambda}x\right)$ と表される。

π は円周率、 λ は波の周期を示す。

```
\end{document}
```

「コンパイル (C)」をクリック、「DVI」をクリックしディスプレイに出力表示可能。
表示を印刷。

[TeX 原稿テキストファイルの説明 I

文章中の数式や数学記号は \dots のように $\$$ ではさむ。このはさまれた領域が数式モード。例では通常の数学記号ではありませんがアルファベットも数式モードで表記。これらの記号やコマンドについては、EasyTeX のツールバーにある「TeX 数式」のメニューから選択が可能。このメニューにあるコマンド集を用いて編集可能。

追加練習 EasyTeX の専用エディター画面の機能選択ツールバーを使用して、コピー資料の文書作成練習をしてください。